



佐々木小

第 6 号

令和6年10月15日

佐々木小学校

新発田市則清856

TEL 0254-27-2011

互いを理解し 思いやる “たてわり班活動”

校長 齋藤 博敏

早いもので、令和6年度も折返しの10月を迎えました。子どもたちは、今月19日（土）に行われる学習発表会に向け、授業中はもちろん休み時間にも自主的に練習、準備に励んでいます。きっと当日はこれまでの学習した成果を遺憾なく発揮してくれるに違いありません。

去る4日（金）たてわり班遠足を実施しました。紫雲寺記念公園においてほぼ全日程を実施することができたのは、実に5年ぶりになります。なぜかこのたてわり班遠足だけは天候に恵まれませんでした。4年前は、オリエンテーリングを始めた途端に雨が降り、途中帰校しました。そして、一昨年、昨年は雨天のため、校内でのオリエンテーリングとなりました。今年度も、前日の朝の天気予報では、9時から雨の予報が出ていましたが、遠足当日は12時から雨が降り出す予報に変わっていました。途中予定を変更することも視野に入れ、学校を出発しました。オリエンテーリングの最中、ポツリポツリと雨に当たることはありましたが、秋の紫雲寺記念公園を満喫することができました。13：30頃帰校した途端に土砂降りとなり、ホッと胸をなで下ろした次第です。



さて、当校では、日常の“たてわり班清掃”、昼休みを利用した“たてわり班遊び”等、たてわり班活動を意図的に仕組んでいます（当校では、あえて平仮名表記をしています）。

たてわり班活動は、異年齢集団（年齢が多様な人の集まり）で、**共に楽しくふれあい、交流を図る**ことをねらいとしています。また、たてわり班活動は、**他者を理解し、思いやる**という面でとても大切な活動です。教室のように学年がそろっている集団で過ごす活動とは違い、グループには1年生から6年生がいるので、年齢も知識も体力も異なる人と活動します。高学年のリーダーシップを育むことはもちろんですが、異学年での活動は、他者を理解し、思いやることにもつながります。例えば、高学年は、下級生の様子を気遣いながら一緒に過ごすことが必要になります。自分は平気でも「低学年は楽しめているのかな？困っていることはないかな？」と常に考え、声を掛けながら行動します。低学年は、頼りがいがある上級生の姿を見て過ごします。そして、優しくしてもらって嬉しかったという経験が学びへとつながるのです。